

# 「New だれが，たべたのでしょうか」(8時間扱い)

授業者 森 紗織

## 《単元について》

目標： 「問いの文」と「答えの文」，「説明の文」を押さえ，順序に沿って内容の大体を読むことができるようにする。

「だれが，たべたのでしょうか」は，「すずめのくらし」に続いて学習する説明文である。写真と文章を結びつけて考えることができたり，説明の基本である「問いかけの文」と「答えの文」が繰り返す展開の構成になっていることにより，既習を生かし，見通しをもって読み進めることができたりする。

今回は単元を貫く言語活動として，本文で読み取った順序を基に自分の興味のある動物を選んで本文の続きを書き，それを幼稚園の子供たちにプレゼントする活動「『New だれが，たべたのでしょうか』を作って幼稚園の子にプレゼントしよう」を設定する。

この言語活動を設定することにより，相手意識を高めて自主的・主体的に学習を進め，より内容や順序について理解を深めることができる。そして，身近な動物を扱った本題材をきっかけにして，教師が用意した本の中から，興味のあるものを選択することで，主体的に読み取ることができると考えた。

## 《単元の評価規準》

- |            |  |
|------------|--|
| <b>評価1</b> | ○ 動物の食べ跡から，いろいろな動物の暮らしに関心を持ち，科学的な内容の本や図鑑等を選んで読もうとしている。<br>[関心・意欲・態度] |
| <b>評価2</b> | ○ 問いの文と答えの文，補足説明の文の順序を意識したり，写真と文を比べたりしながら読んでいる。<br>[読むこと]            |
| <b>評価3</b> | ○ 文章の中で大事な言葉や，対応する言葉に気を付けながら書き抜いている。<br>[読むこと]                       |
| <b>評価4</b> | ○ 主語と述語の関係，拗音・促音・撥音などに気を付けて音読したり，書いたりしている。<br>[言語への知識・理解]            |

## 《本単元におけるアクティブ・ラーニングで育てていく資質・能力》

### 自主的・主体的な課題解決

- ・ 課題を明確にして解決の見通しをもつ
- ・ 考えや情報を整理する

### 本単元における活動の姿

本文から読み取った事柄の順序や友達の考えを生かし，自分の選んだ動物について科学的な内容の本や図鑑等で調べて書き抜いたり，自分の選んだ動物で友達と交流する文章「New だれが，たべたのでしょうか」の作品を書いたりしている。

### 協同的な課題解決

- ・ 協同する
- ・ 協同することの価値に気付く

### 本単元における活動の姿

積極的にコミュニケーションをとりながら，友達と文章を読み合ったり，写真や絵と文を比べながら見合ったりすることで，作品のよい所や取組のよさについて互いに認め合っている。

《研究との関わり》

自主的・主体的な課題解決や協同的な課題解決を進めることができるよう、課題設定の在り方や振り返りの在り方の支援を表すと、以下ようになる。

	自主的・主体的な課題解決のために	協同的な課題解決のために
課題設定の在り方	<p><b>単元を貫く課題の設定</b> 単元を貫く言語活動（課題）として、『New だれが、たべたのでしょうか』を作って幼稚園の子にプレゼントしよう』を設定する。その中で、本文の順序を意識しながら続きを書くという課題の設定により、子供は本文をより深く理解しようと読んでいく。本文から問いの文と答えの文や説明の文の関係を読み取ったり、写真と文を比べながら読んだりする必要感をもつ。</p>	<p><b>他者と協同しながら学びを深めていく課題の設定</b> 本文の問いと答え、説明などの流れを意識した文を書くという課題を設定することで、友達の商品と比較することが容易になり、話し合う内容が焦点化され、交流がより活発になる。 読み手を意識したよりよい作品づくりのために他者を求めていくよう、幼稚園の子にプレゼントする活動をゴールに設定する。</p>
振り返りの在り方	<p><b>自分の学びを振り返り、修正・改善・自信を深めるために話し合ったり交流したりする場の設定</b> 客観的な自己評価の視点をもって自分の学習を振り返ることができるよう、話し合ったり交流したりする中で、友達を評価したり、友達に評価されたりする場を設定する。これにより学習の成果から自信をもったり新たな課題意識を高めたりしながら、次の学習に対して、意欲をもつ。</p>	<p><b>協同する価値に気付く場の設定</b> 交流前と交流後の作品を比較することで、自分や友達が協同して見つけた多くの気付きが、よりよい作品づくりにつながっていくことを実感する場を設定する。</p>

E 《単元のグランドデザイン》

<p><b>開始期</b> 第一次</p> <p>1 時</p>	<p>① 絵本「たべたのはだれ？」の読み聞かせ、自分が感じたことや思ったことを話し合う。 ① 自分が興味のある動物について交流する。 ① 範読を聞いて、説明文の大体を知る。 ① 単元の目的と学習の道筋を話し合う。</p> <p>単元を貫く課題の設定（文の順序を意識しながら本文の続きを書く） 他者と協同しながら学びを深めていく課題の設定</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl;">単元を貫く言語活動 「New だれが、たべたのでしょうか」を作って幼稚園の子にプレゼントしよう</p>
<p><b>展開期</b> 第二次</p> <p>2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 時</p>	<p>② 音読をしながら、本文の続きを書くことに向けて自分が調べたい動物についてのイメージを膨らませたり、交流したりする。 ③④ 「はじめの文」「問いの文」「答えの文」「説明の文」がどこに書かれているの写真と文の対応について考えたり、大事な言葉や文を書き抜いたりしながら順序について話し合い、「ばっちりポイント」（順序・大事な言葉・書き方）を確認する。</p> <p>他者と協同しながら学びを深めていく課題の設定 （本文の問いと答え、説明などの流れを意識した文を書く）</p> <p>⑤ 教師の書いた「むささび」の作品を書き直し、ばっちりにするための交流を行う。 【本時】</p> <p>協同する価値に気付く場の設定</p>	
<p><b>まとめ期</b> 第三次</p> <p>6 ・ 7 ・ 8 時</p>	<p>⑥ 自分選んだ動物について図鑑や科学的な内容の本から情報を取り出す。 ⑥ 自分の選んだ動物について説明の順序に気を付けながら、文章づくりを進める。 ⑦ 文章の内容及び写真や絵を交流し、感想やアドバイスを伝え合いながら文章を見直す。</p> <p>自分の学びを振り返り、修正・改善・自信を深めるために話し合ったり交流したりする場の設定</p> <p>⑦ 本番用シートに書き込む。 ⑧ 完成した作品を互いに読み合う。 ⑧ 感想を交流したり、自分の学習の振り返りを行ったりする。</p> <p>協同する価値に気付く場の設定</p>	

《単元計画》

	学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
開始期 (1)	<p>○ 絵本「たべたのはだれ」の読み聞かせを見て、感じたことを話し合う。</p> <p>すぐにねずみだってわかったよ。</p> <p>くるみに穴を開けるなんてすごい。</p> <p>他の動物もあるのかな。</p> <p>短いよ。もっと読みたいよね。</p>	<p>◇ 進んで絵本の感想や食痕について交流し、今後の学びについて見通しをもとうとしている。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評1</span></p> <p>☆ <u>学習の見通しをもち、意欲的に学習を進めることができるよう、単元のゴールを設定する。</u>  <u>【単元を貫く課題の設定・他者と協同しながら学びを深めていく課題の設定】</u></p>
	<p>単元を貫く言語活動 「New だれが、たべたのでしょうか」を作って、幼稚園の子にプレゼントしよう。</p> <p>○ 教科書本文、図鑑や科学的な内容の本と出会い、興味をもつとともに、どのように進めていくことがよいのか学習の見通しをもつ。</p> <p>教科書もそっくりな話だね。</p> <p>幼稚園の子もわかりやすいと思う。</p> <p>みんなで書いたらすごくなるね。</p> <p>何の動物を書こうかな。</p>	<p>☆ 学習のイメージをより具体的にもつことができるよう、読み聞かせや範読を工夫する。</p> <p>☆ 学習の見通しをより明確にもつことができるよう、単元計画を掲示する。</p>
展開期 (2~5)	<p>○ 音読をしながら、本文の続きを書く学習に向けて自分が調べたい動物についてのイメージを膨らませる。</p> <p>すずめは草のみだったよね。</p> <p>うさぎはにんじんだよね。</p> <p>桜の花を食べる鳥もいるんだって。</p> <p>早く自分の好きな動物で書きたいな。</p>	<p>◇ 語のまとまりに気を付けながら音読している。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評4</span></p> <p>☆ 音読の前後に自由に考えを交流する場を設定したり、音読の形態を工夫したりする。</p>
	<p>○ 文と写真の対応や「はじめ」「問い」「答え」「説明」の文を探し、順序や内容について考える。</p> <p>「すずめのくらし」と同じ感じだね。</p> <p>問いの文はもう見付けたよ。</p> <p>長いけど、これも説明の文かな。</p> <p>「だれが」が大事だよ。</p> <p>ぼくも、この順番で、こんな風書いてみたら、わかりやすく書けると思うな。</p> <p>○ 「ばっちりポイント」について考える。</p>	<p>◇ 文と写真を比べたり、食べ痕と食べた動物について問いと答えの関係や順番を考えながら、読んでいる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評2</span></p> <p>☆ 「すずめのくらし」での学習した「ばっちりポイント」(「順序」「大事な言葉」などの視点)に沿って振り返るよう促す。</p> <p>☆ 順序を意識したり、自分の考えを表現し、他者と交流したりすることができるよう、ワークシートを用意する。</p> <p>☆ 文章の中で大事な言葉や対応する言葉に着目できるよう、その使い方が正しいのか話し合う場を設定し、「ばっちりポイント」に気が付くような働きかけを行う。</p>

<p>本時</p> <p>○ 教師が「むささび」について書いた文を直し、交流する。</p> <p>ここには「だれが」が入るんだよ。</p> <p>ここには、食べた跡の写真だよ。</p> <p>説明の文は、本で調べて書こうよ。</p> <p>問いの文がないと変だね。</p> <p>これでばっちりになったよ。早く自分のを書きたいな。</p>	<p>◇ 文章の中で大事な言葉や、対応する言葉に気を付けながら読んでいます。 [評2]</p> <p>☆ 「ばっちりポイント」である「順序」「大事な言葉」などに着目し、資料から書き抜き、作品を書くために、お互いの考えを交流する必要性のある課題を設定する。【他者と協同しながら学びを深めていく課題設定】</p>
<p>まとめ期 (6~8)</p> <p>○ 図鑑や科学的なことを書いた本の資料から情報を取り出し、作品の下書きを書く。</p> <p>食べている絵か写真をいれないとね。</p> <p>鹿は木の皮も食べるんだって。</p> <p>できたよ。でも、少し心配だから友達に見てもらいたいな。</p> <p>○ 作品を交流し、感想やアドバイスを伝え合いながら作品の下書きを見直す。</p> <p>幼稚園の子にわかりやすいと思うよ。</p> <p>答えの説明はどこにあるのかな。</p> <p>いっぱい直してばっちりにしたから、本番用のシートにていねいに書こう。</p> <p>○ 本番用シートに書き込む</p> <p>この「わ」は「は」で書くぞ。</p> <p>本番用に書くのはドキドキするね。</p> <p>やっとできた。みんなも完成したのかな。最初のページから読んでみたいな。</p> <p>○ 完成した作品を交流する。</p> <p>たくさんあるからおもしろいね。</p> <p>いろいろあるから楽しいね。</p> <p>きっと幼稚園の子も喜んでくれるよ。読み聞かせに行くのが待ちきれないね。</p> <p>○ 感想を交流したり、自分の学習の振り返りを行ったりする。</p> <p>友達が驚いてくれてうれしかったよ。</p> <p>順番を守って書いたから簡単だったね。</p> <p>みんなで作ったらすごいのができたね。今度はもっと難しくても頑張れそうだよ。</p>	<p>◇ 図鑑や科学的なことを書いた本の資料から大事な言葉や文を書き抜き、順序に気を付けながら作品を書いている。 [評3]</p> <p>☆ 自分で好きな動物を選んで作品を書くことができるよう、資料やワークシートを用意する。</p> <p>◇ 互いの作品を交流し、事柄の順序に気を付けて読んだり修正したりしている。 [評2]</p> <p>☆ 交流前後での変化を実感することができるよう、赤ペン等を使って修正するよう促す。</p> <p>☆ 相手を意識した作品作りができるよう、観点を明確にした評価シートを用意する。【自分の学びを振り返り、修正・改善・自信を深めるために話し合ったり交流したりする場の設定】</p> <p>◇ 進んで互いの作品を交流し、相手の作品のよさを見付けて伝えようとしている。 [評1]</p> <p>☆ 協同的に学ぶことのよさを実感できるよう、互いの評価をしたり、自分の学びを振り返ったりすることができるような場を設定する。【協同する価値に気付く場の設定】</p>

《本時案》 本時 5/8

本時の目標

むささびの作品の中で大事な言葉や、対応する言葉に気を付けながら、読んでいる。

学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
<p>全文を音読し、「だれが、たべたのでしょうか」の順番や、大事な言葉について確認する。</p> <p>はじめのぶん → たべたあとのしゃしん → といのぶん → こたえのぶん → たべているしゃしん → せつめいのぶん</p> <p>○ 本時の学習の見通しをもつ。</p> <p>むささびバージョンの下書きを直してばっちりにしあげよう。</p>	<p>☆ 学習の見通しをもてるよう、単元計画や「ばっちりポイント」を掲示したり、確認したりする。</p> <p>☆ 「ばっちりポイント」である「順序」「大事な言葉」などに着目し、資料から書き抜き、作品を書くために、お互いの考えを交流する必要性のある課題を設定する。 【他者と協同しながら学びを深めていく課題設定】</p>
<p>○ 教師が提示したむささびの作品の下書きを読み、訂正するところがないかペアで確認する。</p> <p>なんだかよくわからないぞ。      この順番はなにか変な感じがするよ。</p> <p>説明のところができてないね。      本のどこに書いてあるのかな。</p> <p>書いてみたけど、他の人はどんな風に考えたのか知りたいな。</p> <p>○ むささびの作品の訂正部分を全体で交流し、下書きを完成させる。</p> <p>教科書と同じ言葉にしないとね。      問いの文がないから入れようよ。</p> <p>何を食べているのかはここにあるよ。      幼稚園の子はわかってくれるかな。</p> <p>その言い方もいいと思うよ。これでばっちりか、確認しようよ。</p>	<p>◇ 文章の中で大事な言葉や、対応する言葉に気を付けながら読んでいる。 <span style="float: right;">評3</span></p> <p>☆ 「ばっちりポイント」である「順序」「大事な言葉」などの視点に沿って振り返るよう促す。</p> <p>☆ 自分の考えを表現し、他者と交流することができるよう、ワークシートを用意する。</p> <p>☆ 文と写真を比べて内容に着目して考えることができるよう、ワークシートを工夫する。</p> <p>☆ 交流前後での変化を実感することができるよう、赤ペン等を使って修正するよう促す。</p>
<p>○ 完成した下書きを含めて全文を音読し、違和感がないか全体で確認する。</p> <p>大丈夫！できてると思うよ。      すごいよ。本物みたいになったね。</p> <p>やっぱり、みんなで確認したら、ばっちりになったよね。</p> <p>○ 今日の学びの振り返りをする。</p> <p>みんなできて楽しかったね。      順番の紙で確認するといいね。</p> <p>はやく、ぼくの選んだ動物で書きたいな。おもしろいを書いて、幼稚園の子に喜んでもらいたいね。</p>	<p>☆ <u>協同的に学ぶことのよさを実感できるよう、互いの評価をしたり、自分の学びを振り返ったりすることができる場を設定する。</u> 【協同する価値に気付く場の設定】</p> <p>☆ 友達と協同することによって、よりよい作品になったことを実感できるよう、自分のワークシートと黒板のワークシートを比べるよう促す。</p> <p>☆ <u>学習の成果から自信をもったり新たな課題意識を高めたりしながら、次の学習に対して、意欲をもつ。</u> 【自分の学びを振り返り、修正・改善・自信を深めるために話し合ったり交流したりする場の設定】</p>